

岳洋学舎だより

令和3年7月号

— 自信をもち自分の力を発揮する小笠の子ども — (岳洋中、北小、東小、南小)

— 第1回岳洋学舎運営協議会を開催しました —

7月8日(木)、菊川市中央公民館で岳洋学舎運営協議会を行いました。地区自治会やコミュニティ協議会、青少年健全育成会の代表者など約40名が参加しました。



運営協議会では、委員長のあいさつ、委員自己紹介のあと、「学びの庭」構想、小中一貫教育の活動について、学舎コーディネーターから説明がありました。

また、岳洋学舎小中学校教頭からは、最近の学舎の児童生徒の実態・学校の様子、岳洋学舎の目指す子ども像、取り組みなどについてそれぞれ発表がありました。

委員の意見交換では、参加者が5グループに分かれて「子どもたちの大切な命を守るために」「すてきなあいさつ みんなであいさつ」について討議しました。どのグループも、熱心に前向きな話し合いが行われました。

赤堀眞理委員長あいさつ要旨

「学びの庭」岳洋学舎も3年目になりました。「自信を持ち自分の力を発揮する子」を目指す子ども像とし、学校、家庭、地域が連携して多くの取り組みが行われ、その度に子どもたちの輝く笑顔を見ることができました。

また、あいさつ運動、スクールガードボランティアなど、地域の見守りの中で子どもたちが安心・安全にのびのびと生活しています。特別な時・ことにではなく、日常茶飯事で地域の宝である子どもたちが守り育てられていることを実感しています。

いつの時代でも、私たち大人は子どもたちの命、心、身体、学びを守る使命があります。この後の時間で、家庭と学校と地域が連携して大切な宝を守っていくことに委員の皆様から忌憚のないご意見、ご提案をいただければ幸いです。



グループごとに分かれて話し合いを行いました。

出された意見の内容の一部を紹介します。

- 歩道が整備されているが、自転車の通路が不十分。
- 県道の横断や、抜け道として進入してくる車が危険。
- 子どもたちに、自分の身は自分で守る教育が必要。
- スクールガードには本当に感謝している。
- 道路わきの樹木等の整備も必要。
- 県道を横断するところが危険。
- 声に出さなくてもお辞儀をしていく子がいる。
- PTAでも、家で自然な「すてきなあいさつ」をするようすすめている。
- 以前よりあいさつできるようになった。リーダーがあいさつできると下級生もできる。



野菜の先生に教えてもらったよ！

小笠東小2年生は、5月14日（金）地域ボランティアの二俣利男さんやJAの職員の方に、野菜の先生となっていただき、苗の植え付けをしました。

きゅうりやナス、とうもろこしなどを植えて、みんな大きくなるのを楽しみにしています。



SDGsの取り組みを起業学習に

小笠南小6年生は、5月25日（火）NPO法人しずおかビジネス支援パートナーズの勝又徹さんを講師に、SDGs（持続可能な開発のための国際社会の共通目標）とは何か、かかわり方を教えていただき、それをもとに菊川市の将来に役立つ企業プランの活動を計画しました。

今後、市内の女性起業家を招き、いろ

いろなアイデアにアドバイスをしていただき、完成させる予定です。



岳洋中薬学講座開催

岳洋中3年生は、6月28日（月）薬学講座を受けました。講師は、なかはら薬局の増田和司先生で、テーマは「薬物の恐ろしさを知ろう」です。

薬物乱用が犯罪であること、身体や社会に悪影響を与えることなどについて教えていただきました。その後、薬物に勧誘される場面を、ロールプレ

イニングで体験しました。勧誘役の担任と誘われる役の学級の代表生徒が、アドリブも交え役になり切り、恐ろしさを知りいい体験となりました。

公共施設の見学

小笠北小2年生は、7月15日（木）生活科の学習で、市内の公共施設を見学しました。中央公民館・図書館・児童館を3つのグループに分かれ、施設の上手な使い方について市の職員に教えていただきました。普段は入れないエリアも見学させていただき、楽しそうでした。

